

シリーズ「見守り活動紹介」⑤

— 新生小学校、大山小学校、上砂川小学校 —



新生小学校

新生小学校は、富士見町第5班と第6班が担当しています。両班の会員数は合計で111名、活動参加人数は約75名で、1日平均9名が参加しています。

見守り場所には、学校周辺の交差点・横断歩道4ヶ所と新奥多摩街道にかかる歩道橋付近の計5ヶ所を設定しています。



郵便局前の交差点での活動

活動参加者は「あらかじめ決めておいた曜日に参加する」ことを基本としながら、就業やその他の都合に合わせて「参加できるときに参加していただく」こととして、各会員が毎月1～4回程度参加しています。



各曜日には責任者(見守りリーダー)がおり、学校に用意していただいた待機所に集合して、責任者が決めた担当場所で活動していただいています。



【班長からひとこと】

第5班班長

見守り活動へのご参加・ご協力ありがとうございます。

新生小学校では3月に「感謝の集い」が開催され、学校からの感謝状と1年生の皆さんから心温まるメッ



セージをいただきました。これからも地域の力が発揮できますよう、みんなで頑張りましょう。

第6班班長

日頃から見守り活動にご参加いただきありがとうございます。おかげさまで順調に活動を続けることができています。これからも、ひとりでも多くの方々にご参加いただき、地域と学校が協力して児童の安全を守ってきたいと思います。

大山小学校

大山小学校は、上砂町地区班と一番町・西砂町第1班が担当しています。活動には、2班合わせて1日に6～8名が参加しています。

上砂町地区班はA・B班が担当、参加者は23名、1日に3～5名が参加し、主に学校の東側と西側の区域を担当し、上砂会館など3ヶ所で活動しています。交通量が多い場所もあるので、青信号にかわった直後の児童の飛び出しに特に注意を払っています。

一番町・西砂町第1班の参加者は約15名、1日に3～4名が参加し主に学校の西側の区域を担当しています。西側地区は交差点が6ヶ所と多くあり、また交通量も多い「多摩大橋通り」も横断するため、特に車には注意



(3) 新学期が始まりました。登下校に不安な新1年生の見守り活動に引き続きご協力をお願いします。

しています。

見守り方法は、以前は付き添いでしたが、コロナ禍では「定点見守り」に変更しています。下校時間までに一度学校へ集まり、参加名簿にチェックを入れて、持ち場の交差点に向かいます。自由参加にしているので、日によって参加人数が偏ることが悩みです。



参加人数に応じてきめ細かな立ち位置を決めています。

上砂町地区班はD班が担当、道路幅の狭い農道や新築された住宅から通う不慣れな児童への対応に重点をおいています。



特に気をつけていることとしては、幹線道路では、車道側の縁石を歩く児童や、信号機の近辺で待ちきれなくて遊ぶ児童への注意喚起です。



〔班長からひとこと〕

上砂町地区班班長

参加会員が1割程度ですので、参加促進の呼びかけを行っています。児童の安全確保のためにひとりでも多くの方の参加をお待ちしています。

一番町・西砂町第1班副班長

昨年秋には、3年生から畑で作った「かぶ」と「かぶ」の料理レシピと、さらに感謝の作文をおひとりごとにいただきました。3年生になっても覚えてくれてうれしいかぎりです。シルバーの皆さん、これからも未来を開く子どもたちのために頑張りましょう。

上砂川小学校

上砂川小学校は、砂川町第4班と上砂町地区班が担当しています。活動には、2班合わせて1日に約10名が参加しています。

見守り場所は8ヶ所あり、2つの班で分担しています。砂川町第4班区域の通学路には、西武拝島線の踏切や交通量の多い幹線道路の交差点があり、見守り場所3ヶ所に、



〔班長からひとこと〕

砂川町第4班班長

児童の下校時間の数十分前にお集まりいただき、スポーツ、社会情勢、趣味等の談話で和気あいあい、また見守り活動の重要性を理解していただいていると思っています。遠くの親戚より近くの他人(マイフレンド)として長く付き合いたいと思います。本当にありがとうございます。

今年度もよろしく願いいたします。

上砂町地区班班長

気持ちよく参加していただけるよう心がけています。3月17日(木)の下校時には、1年生全員から絵手紙の贈呈と「感謝の言葉」を学校長のご指導のもといただきました。ひとりでも多くの方の参加をお待ちしています。

